

科目名	卒業制作						年度	2026	
英語科目名	Graduation production						学期	後期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習+実技
担当教員	成清正紀	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 卒業公演は基本的にダブルキャストで行うため、A班、B班にチームを分けて行う。2年間の集大成である卒業公演に向けて、基本的には今まで学んだことを活かし自らがついていく授業にしていきたい。演出と学生達が考えた表現を融合し、作品の面白さを追求していく。授業は「荒立ち稽古」「通し稽古」「最終的なリハーサル」「本番」で構成している。									
【科目の概要】 卒業制作作品に出演する（他学科制作のアニメ・CG・ゲーム・映像・イベントほかを含む）。									
【到達目標】 舞台実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの集大成と言える授業となる。自分の人生ではなく他人の人生を生きる難しさと楽しさが理解できるようになる。自分が表現したい演技の矛盾点にも自発的に気がつけるようになる。照明や音響を使い、決められた動きの中で生きた芝居が行えるようになる。発表までの過程を学ぶことで、役作りとは何か、芝居とは何か各々答えを見いだせるようになる。									
【授業の注意点】 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。一人ひとりの学生に割り当てられた役が大事な物語構成員であることを理解し授業参加意識の欠落を招かないこと。また、「通し稽古」に入ってから連絡のない遅刻・欠席に関しては配役の変更、降板をすることもある。そして、割り振られた役割分担を責任を持って成し遂げる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	腹式呼吸が完璧にできており、長い台詞・短い台詞を正しい発声法とブレスポイントを駆使することができる。	概ね腹式呼吸ができていいるが、息の量が少なくなった時に咽頭への力みが生じる発声をしている。	腹式呼吸を理論的に理解しているが、訓練不足により結果が出ていない。	腹式呼吸を理論的に理解できず、訓練方法の意図も理解できていない。	腹式呼吸やその訓練の重要性を理解せず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 B	初見の課題において、母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を的確に区別し、台詞として表現することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を自力で区別することができる。実践することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができるが、自力で区別することができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができず、区別していうことができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解しようとして、授業内において出席意欲が感じられない。				
到達目標 C	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品について語ることができる。	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品のテーマを理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解しようとする意欲は見える。	戯曲を読解しようとする意欲がない。				
到達目標 D	自分の役割を理解し、自己都合を一切感じさせず他者の感情に訴えかける表現を行うことができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮しながら“役としての”コミュニケーションを図ることができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮し用としているが“役としての”コミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解できず、他者と目を合わせてコミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解しようとして、他者とコミュニケーションを図ろうとしない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		卒業制作			年度	2026		
英語表記		Graduation production			学期	後期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価		
1	戯曲に向き合う	自分の役を理解する	1 通し稽古	相手との交流で、自分の役を掴む				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13	卒業公演	1日目	1 リハーサル	照明・音響に合わせての場当たり	2			
			2 GP	本番同様に全力を尽くす				
			3 上演	役を生きる				
14		2日目	1 リハーサル	照明・音響に合わせての場当たり				
			2 GP	本番同様に全力を尽くす				
			3 上演	役を生きる				
15	まとめ	反省会	1 映像	自分の演技を確認する 共演者全体の演技を確認する				
			2 まとめ	2年間を振り返る				
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他								
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった								
備考 等								